

補助事業番号 28-1-087
補助事業名 平成28年度学術・文化の振興のための活動補助事業
補助事業者名 一般財団法人 地域伝統芸能活用センター

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

地域伝統芸能等を活用した全国イベントを開催することにより、地域伝統芸能等の文化を広く鑑賞する機会を提供するとともに、地域伝統芸能等の保存継承、振興に寄与し、観光及び地域商工業の振興を図ることにより、公益の増進に寄与する。

(2) 実施内容

地域伝統芸能全国大会「地域伝統芸能による豊かなまちづくり大会ながはま」「日本の祭りinながはま2015」

実施日：平成28年10月29日(土)～30日(日)

会場：メイン会場：さざなみ会場(長浜文化芸術会館)

：まちなか会場(長浜市中心市街地)

サテライト会場：北国街道きのもと宿会場(木ノ本駅周辺)

浅井会場(浅井文化ホール)

主催：一般財団法人地域伝統芸能活用センター、長浜市

「日本のまつりinながはま2016」、「地域伝統芸能による豊かなまちづくり大会ながはま」実行委員会、

共催：滋賀県

後援：国土交通省、観光庁、経済産業省、農林水産省、総務省、日本政府観光局(JNTO)、NHK

協力：公益社団法人日本観光振興会、公益社団法人全日本郷土芸能協会、一般財団法人伝統的工芸品産業振興協会

協賛：公益財団法人JKA

2 予想される事業実施効果

- ・全国各地に伝わる伝統芸能や祭りは、地域の重要な文化資源であり、地域形成の一つの核となっているが、過疎化や高齢化が進む中、衰退の危機に瀕しているものもある。しかし、2011年の東日本大震災をはじめ未曾有の災害においてもその被災地では、職や生活の不安の中、「祭り」によって地域の絆を保ち、復興への力を得たところも多くあり、祭りの持つ力が見直されてきている。

(別紙5)

- ・本事業である地域伝統芸能全国大会を開催し、伝統芸能やお祭りに公演の場の提供、後継者たる若年層の参加の機会の提供、祭りを通じて地域の振興、活性化に尽力している団体等を顕彰するなど、催事を通じて観光誘客、商工業の振興を図ることにより、生活のゆとりや個性豊かな地域づくり、地域の活性化、創生に資するものである。
- ・本事業においては、出演者、来場者も達成感や満足感を感じていることから、本事業を継続していくことにより担い手や観客など参加者の活力にもなっていくものと確信している。
- ・その効果の一環として、実績として現れている効果は、本大会の開催ノウハウを活かした地方公共団体等で独自の伝統芸能や祭りのイベントの開催に結びつけることができたことであり、更に拡大も期待できる。
- ・本大会のノウハウを活用した祭り大会等の例としては、
 - ① 福島県：平成24年度の開催を機に、25年度より県内の各地で4年続けて「ふるさとの祭り」を開催。
 - ② JR西日本：平成25年より3年続けて、大阪駅構内で西日本の祭りや伝統芸能を中心に「地域伝統フェスティバル」を開催。
 - ③ 成田市：平成26年度の開催を機に、27年度「成田伝統芸能まつり」を市内で開催以来、2年継続して開催している。
 - ④ 長浜市においては、今年度の開催を契機に、平成29年度の開催を予算化し、大会の開催を目指している。

(別添参考 各パンフレットコピー)

- ・また、旅行会社、JR、旅行雑誌のHPやパンフレットにより全国大会への個人旅行者参加へのPR、ツアー企画の仕向地情報の提供など、本大会のみならず各地の伝統芸能や祭りのイベントへの誘客の効果が現れてきている。

(別紙5)

3 補助事業に係る成果物

(1) 補助事業により作成したもの

<ポスターB2>



<チラシ>

(裏)

(表)



(別紙5)

<プログラム>

(裏)



(表)



<事業報告書>

(裏)



(表)



(別紙5)

<記録DVD>



(2)(1)以外で当事業において作成したもの
なし

4 事業内容についての問い合わせ先

団体名： イッパンザイダンホウジンチイキデントウゲイノウカツヨウセンター
一般財団法人地域伝統芸能活用センター
住所： 〒103-0004
東京都中央区東日本橋2丁目24-12
代表者： カイチョウ ナカムラ トオル
会長 中村 徹
担当部署： ギョウムダイニブ
業務第二部
担当者名： ウチダ オサム
内田 修
電話番号： 03-5809-3782
FAX： 03-5809-1430
E-mail： gyoumu@dentogei.no.or.jp
URL： <http://www.dentogei.no.or.jp>